

## プラ削減アクションすごろくづくり

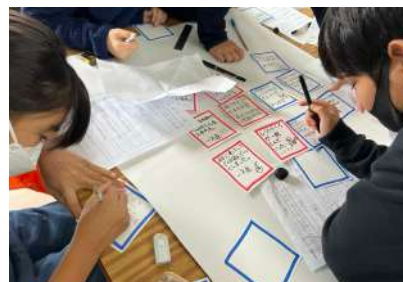
### 授業展開の道しるべ

プラスチック汚染を食い止め、使い捨てプラスチックを減らすために、どんなアクション（行動）が必要でしょうか。「・・・をするべきだ」という項目を挙げているだけでは、社会は変わりません。

この授業では、子どもたち自身を含めて、誰が、どんなアクションを起こすとプラスチック削減にどれだけの効果が出るのか、あるいはどんなアクションが悪影響をもたらすのかを考えるすごろくゲームを作ります。

「誰が」「XXをした」という、主語を明確にしたアクションを書き出し、そのインパクト（影響）のポイントを考えながらすごろくを作ることを通して、自分たちが何をすべきか、誰のどんな行動が社会を変えていくのかについて理解を深めます。それが、誰に何をお願いすればいいのか、実際に働きかける相手を明確にして、実際のアクションに繋げていく一歩になります。また、すごろくというフォーマットを使うことで、現実の枠を超え、自由な発想で斬新なアイデアを考えることができます。出来上がったすごろくで友だちや家族にも遊んでもらうことによって、アクションを広げるきっかけにもできるでしょう。

プラスチック汚染の現状やプラスチックの一生について学んだ後、地域社会に向けてプラスチック削減のアクションを起こす前の学習に適した授業案です。



### 一言アドバイス

子どもたちは「アクション」というとどうしても「マイボトルをもつ」「ポイ捨てをしない」など、個人の行動に陥りがちです。これを地域や自治体、さらには国でできること、に視点を広げてあげることが必要になります。また、「そんなこと無理」という概念を取っ払ってあげることも重要で、すごろくというプラットフォームがそれを可能にしてくれます。「えー！！？？そんなの無理～！」っていうアイデア大歓迎、と伝えてください。そんなアイデアが子どもたちから出てきたら、みんなに見せてあげてください。「国がペットボトルを禁止した」とか。

対象：小学校高学年以上

教科：総合

所要授業時数：2時間

### 用意する物：

- ・アクションワークシート（サンプルPDF）
- ・見本のグッドアクション、バッドアクションのカード
- ・すごろくのマスカード（blankがこのPDFに入っています） 5、6人のグループにつき40枚（10cm角くらいの大きさがよい。グッドアクション青枠 32枚、バッドアクション赤枠 8枚。模造紙1枚に大体32～35マスぐらい貼り込めます。）
- ・模造紙 グループ数分（1グループ5人程度）
- ・のり、ペン等（すごろく仕上げ用）
- ・すごろくで遊ぶ時の点数票、サイコロ

### 授業のねらい

- 1) プラスチック汚染問題を解決するためのアクションにはどんなものがあるのか、誰がそのアクションの主体になるのかを明確に理解する。
- 2) それぞれのアクションの効果がどのくらい大きいのかを想像・査定できる。
- 3) 自分たちが誰に、何をお願いすれば具体的なプラ削減につながるのかの道筋を理解する。

## 授業の進め方

時限	進行	取り組みの様子	内容
1	<b>クラス全体</b> 授業の狙い、やること、注意事項などの説明。見本のアクションを黒板に貼る <b>5分</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に挙手でアクションの例を挙げてもらう。アクションの主体が誰かを確認する。</li> </ul>
	<b>個人</b> ワークシート配布 (1) アクションのアイデア出し <b>10分</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>まずはそれぞれがプラスチック削減のためによい行動（グッドアクション）と、悪い行動（バッドアクション）をそれぞれ4つずつ、各自で考えA4紙に書き出す。</li> <li>「誰が」「xxをした」と、必ずアクションの主体を書かせるように徹底する。                (例：○「竹富町が港にウォーターサーバーを設置した」                ×「港にウォーターサーバーが設置された」)</li> </ul>
	<b>グループ</b> ブランクのマスと模造紙、マーカーなどを配布  (2) アクションを話し合って選ぶ <b>15分</b>  (3) アクションに点数をつけ、マスの書き込みをする <b>15分</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>グループに分かれて、それぞれが書いたアクションのうち、どれをすごろくに使うかを話し合う。</li> <li>重複した内容のものを整理したり、楽しいすごろくにするための意外なアイデアも選んだりしながら、34マス分のグッドアクション、バッドアクションを選ぶ。</li> <li>選んだアクションがプラスチック削減にもたらす影響を何点にすればよいかを話し合っ決めて、マスの文章の最後に書く。                (例：竹富町が港にウォーターサーバーを設置した+20点、お母さんがマイ容器でお惣菜を買った+5点 自分がマイボトルを忘れてペットボトルの水を買った-5点等)</li> <li>グループ内でどのマスを誰が書くか担当を決めてマス作りをする。</li> </ul>
2	<b>グループ</b> (1) すごろくづくり <b>20分</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで選んだマスを、模造紙に並べて、矢印などを書き込んですごろくに仕上げる。</li> <li>ルールの確認をする</li> </ul>



<p>ルールの確認</p> <p>(2) 各グループのすごろくで遊ぶ <b>15分</b></p> <p>(3) まとめ <b>10分</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのグループのすごろくで、遊んでみる。</li> <li>すごろくを作って遊んだ感想を話し合う。</li> <li>自分たちでできそうなアクションはどれか、誰に何をお願いしたいか、を発表する。</li> </ul>
---	---	---

すごろくのルール：



